ゴマダラチョウ幼虫の越冬状態の1例？

原田基弘[1)]

A short note on hybernating larva of *Hestina japonica* C. and R. FELDER

By MOTOHIRO HARADA

1964年4月5日，久保快哉氏と私の2人は，浜田氏の，四国に於けるスミナガシ蛹の越冬状態にヒントを得て，東京の高尾山に出むいた．

かつて，幼虫を見つけたことのある見覚えのある木を中心に，発芽していないアワブキの根際に接する，多くの常緑植物を，くまなく探しまわったが，残念乍らその結果は0であった．

その帰途，小仏峠のふもとで，テングチョウの産卵行動に見とれてエノキを見ていると，1枚の枯葉が，附着しており，その枯葉からは，1頭のゴマダラチョウの幼虫を発見することが出来た．これはたまたま，越冬後の個体が，偶然にも枯葉について休止しているものか，又はミスジチョウ型の越冬，即ち梢上の枯葉に台座を作って，そこで越冬するものかの二つのことが考えられる．このいづれかを判断するには季節が季節だけにむづかしい．

静谷英夫氏によると，このような状態での冬季観察があるという．珍らしいことと思い報告します．

竜王山山麓でウラミスジシジミを採集

松本豊[2)]

Wagimo signata from Ryūōzan, Osaka Pref.

By YUTAKA MATSUMOTO

1964年6月12日～26日の間に大阪府茨木市車作，竜王山山麓で♂♀合せて12頭のウラミスジシジミを得た．これらはカシワの樹をたたいたところ飛び出したものを採集したのであるが，かなり多数発生したもようで，ウラジロミドリ，ウラナミアカなどと群飛していた．

1) 横浜市港北区篠原町 331
2) 大阪府茨木市奈良 497

福岡県のゼフィルスの記録

山内光[3)]

Notes on some Theclinae from Fukuoka Pref.

By HIKARU YAMANOUCHI

1 古処山にてフジミドリシジミ *Quercusia fujisana* 卵を採集する．

かねがね古処山の黄樹及びブナ帯に目をつけていた私は1964年1月21日探査を決行した．折からの積雪と寒気に悩まされたが，山頂近く9合目くらいで6卵を採集した．

飼育に於ては不注意にて農薬（発芽剤）を撒布したクヌギを与え，6卵中の3頭を3令で殺し，残る1頭は蛹まで行ったが，これ又死亡した．このため宝満山，英彦山産と同じく *Q. f. latimarginata* であるという確証は夏期又は来春までもち越されてしまったが，ここに確実なフジミドリの分布地として古処山も加えられた事を報告する．なお古処山においてはブナが非常に少く夏期に於ても成虫の発生少く困難をともなうであろうことを考える時，成虫の採集には同山に隣接する屛山の山頂付近のブナの大木帯をおすすめする．

2 粕屋郡篠栗町のキリシマミドリシジミ *Chrysozephyrus ataxus kirishimensis*

前々から若杉山に相対し犬鳴と接する香山，鉾立山畝原山にアカガシの混る雑木林が相当の広さにある事に着目していた私は1964年4月5日急に思いたち一帯を調査してみた．前々よりこの山麓にては相当数のミズイロオナガは得て居り，峠をへだてて接する犬鳴にキリシマミドリが定置して居り，アカガシの古木がある程度混ると絶対の採卵の自信はあったのであるが，山頂付近のアカガシが80年の樹令があり，見事な美林であるのに，卵はきわめて少く，16卵のみを得た．しかしこれにてこの山にもキリシマミドリ分布の確証が得られ，飼育中のところ，5月21日に1♂を得た．なお土地の人の言によればこの山にもマダラサンショウウオが棲息するらしく，非常に面白いことだと思っ

3) 福岡市水茶屋町 65

た．山相は若杉山とは一転して，犬鳴に酷似していた．なお卵は畝原鉾立両山にても得た．相当数の成虫が夏期に於て採集される事に疑はもたない．英彦山や宝満山とは違い，この山はあまり木が高くなく，又足場も悪くない．但し道がなく採集にあたり迷われぬ様に注意が必要であろう．

キマダラルリツバメ大阪府下に産す

村　山　修　一[1)]

Spindasis takanonis occurs in Osaka Pref.
By Shu-iti Murayama

大阪府茨木市の北端京都府との境に近いところにギフチョウの産地としてしられた竜王山（510m）があり，その東側を南北に安威川が流れ竜仙峡と呼ばれる渓谷をつくっている．1964年6月，竜仙峡の採集で私はダイセンシジミ，ウラキンシジミ，キマダラルリツバメ各1頭を採集したが，ダイセンシジミは今まで同渓谷から1頭採れているにすぎず，あとの2種はこの地方から始めて記録されるものである．（神戸の岡村八郎氏も私と相前後して同地よりダイセンシジミ，キマダラルリツバメ各1頭をえられた．）なおダイセンシジミは同じ月，竜王山中腹でも私は1頭を採集したが，松本豊氏は十数頭を採られており，これによって本種は竜王山，竜仙峡一帯に所々発生地のあることが判明した．キマダラルリツバメは従来，大阪府下よりは，かつて能勢一の鳥居附近で少数とれたといわれ（溝口修氏による）ているが，記録されておらず，記録するものとしては今回の私の採集した1♂が最初である．さらについでながら，同地から同月採集したオオムラサキ45♂♂1♀のうち，裏面後翅地色の蒼白色の型は36♂♂，黄白色の型は9♂♂1♀で3.6：1の比率になる．而もこの♀は裏面後翅に少しく斑紋をあらわした *coreana* への傾向を示すものである．

1）大阪府茨木市新庄町3番6号

大阪府下のミヤマカラスアゲハ

松　本　　豊[2)]

Papilio maackii in Osaka Pref.
By Yutaka Matsumoto

1964年5月，天王山へモンキアゲハの採集に行ったときに，飛来するモンキアゲハやカラスアゲハにまじってミヤマカラスアゲハ春型の♀1頭をとりました．なお同地でこの他に同僚の橋本和浩氏も1頭採集されています．

標本の同定をお願いした村山修一先生の御教示によると本種は大阪府では少いとのことですので，ここに報告致します．

採集地　大阪府三島郡島本町　天王山
採集月日　1964年5月22日

御教示頂いた村山修一先生に深謝致します。

クロシジミ秋田市で採集

鳥　居　幸　雄[3)]

Niphanda fusca shijima
at Akita-City
By Yukio Torii

秋田県秋田市太平山でクロシジミを採集したので報告します．白水隆氏著・日本産蝶類分布表（1958年）によると隣県（岩手県・山形県・宮城県）では記録があるようですが秋田県内では記録がないようです．標本の同定は原色日本蝶類図鑑(保育社)によりました．

採集地　秋田県秋田市太平山前岳
採集日　1963年8月8日
採集頭数　2匹（性不明）

2）大阪府茨木市奈良 497
3）京都市中京区壬生松原町54

日本鱗翅学会会報"蝶と蛾"
日本鱗翅学会
大阪市東区今橋3丁目18　緒方病院内
振替口座京都15914番　電話 北浜(231) 3255 代
1965年5月10日

Published by
The Lepidopterological Society of Japan
c/o OGATA HOSPITAL No. 18, 3-chome
Imabashi, Higashiku, Osaka, Japan.
10. May, 1965